

教団新報

定 価 1部144円(本体133円+共206円)
予約購読料 1年分 千共 5,150円
紙代のみ 3,600円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金をそえて、お近くのキリスト教書店へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 道家紀一
編集主筆 渡邊義彦
印刷所 株式会社きかんし



海外10ヶ国、日本全国から京都に
(写真提供: 会議事務局)

日本基督教団 国際青年会議 in 京都

「エネルギー・持続可能社会の実現を目指して」

2017年3月28日(火)～31日(金) 於: 関西セミナーハウス

青年たちによる課題の担い方を模索

2014年3月、仙台・東北学院で行われた国際会議の宣言文に原子力問題を含め震災が引き起こした諸問題を、若い人々が担いリーダースhipを発揮することが記された。今回の国際青年会議は、この「決意と呼びかけ」に応え開催された。青年運営委員たちがプログラムし、「エネルギー・持続可能社会の実現を目指して」をテーマに多彩な講師陣を招き、海外の青年たちにも参加を呼びかけた。東日本大震災6年を迎えて教団が救援対策本部終了を期する会議ともなった。

3月28日から31日にかけて、日本基督教団国際青年会議in京都が、関西セミナーハウスをメイン会場にして開催された。日本全国はもとより、世界各地、カナダ、インド、台湾、ドイツ、韓国、香港、アメリカ、コンゴ、フィリピン、アルメニアから約110名の参加者が京都に集まった。

会議はまず、同志社大学寒梅館を会場にして行われた基調講演から始められた。一般公開となった同志社でのプログラムには、およそ250名の出席者があった。

講演に先立ち壇上に立った秋山徹実行委員長は、この会議が、2014年3月に仙台的東北学院大学で行われた教団主催の国際会議の延長線上にあるものであり、今回の会議も仙台での会議と同様に、ステートメント

を出すという形で終わらせたいと挨拶した。基調講演は、「エネルギー・飽食の時代におけるオルタナティブ…持続可能な社会と大地の安息のために」と題し、同志社大学神学部の小原克博教授により行われた。

「宗教改革500年を覚える記念の時であり、改革者たちが、忘れられた聖書の言葉を取り戻したように、私たちも聖書の言葉に立ち返り、忘れられつつある日本の文化をもう一度見つめ直したい」と始められた講演は、『イエスの食卓が投げかける課題』、『創造の再解

釈ー人間中心主義を相対化する道の探求』、『経済成長至上主義から「大地の安息」へーエネルギー消費・再生の作法』、『ローカルな文化との対話ー「大きな物語」を多声的に語るために』という骨子に沿い、それぞれの項目において聖書の言葉を示しつつなされた。



小原氏による基調講演
(同志社大学寒梅館にて)

お知らせ
「教団新報」は、今号を4860・61合併号とし、4862号は、6月3日発行とします。
総幹事事務取扱
道家紀一

これまでと、これからの取り組み

2日目は、会場を関西セミナーハウスに移して、午前と午後夕食前までに、講演、プレゼンテーション、現状報告と6名の講演、報告が続いた。

講演では「エネルギーの未来はオフグリッド」として環境活動家・田中優氏が、原子力・火力発電といった大規模で環境

プレゼンテーションでは、会議運営委員でもある片岡平和氏が「全国組織としての教会ができること」として、既に常議員会、教団総会でも提示さ

れた、原子力発電所からの教会、関係施設の距離を可視化した日本地図によつて、全国に拡がる教会が平時から放射能観測のモニタリングポストと

しての役割を担えること、地図をアジア、世界に拡大することを訴えた。日本からの現状報告では、まず「福島原発事故の教会、関係施設の距離を可視化した日本地図によつて、全国に拡がる教会が平時から放射能観測のモニタリングポストと

て被災者の救助救援に当たった伏見香代氏が報告した。西氏は、特に原発事故直後、現場間近での経験、その後の避難・救援状況などを語った。

次に「福島原発事故後の働き」として、会津若松で被災者支援に当たっ

課題別に多様な報告

3日目は、課題別の4つのセッションに分け、発題者から報告を聞き、質疑応答の時間を持った。

セッションAは「原子力問題・環境・健康・人権・安全などの視点」とのテーマで持たれた。イ

告。台湾長老教会の大学生・宋文傑氏がPCTの信仰告白と反核宣言に基

反対運動」とのテーマで持たれた。光教会牧師・橋本直行氏は、上関原子力発電所建設計画の経緯と山口県民大集会実行委

員会の活動を紹介。カナダ合同教会のティアナ・アルプー氏は、カナダにおいて気候変動対策から

ユージランドの弁護士・アリン・ウェア氏とカナダの研究員・レイチェル・デイ氏は、司法における反対運動を紹介。32年間裁判官を歩いて現

逆らえない状況を述べ、世論の力の大切さを訴えた。栃木県北原発被災者弁護団の栗谷しのぶ氏は、栃木県が賠償対象地域に指定されなかったことに触れ、県境での区別を乗り越え、子どもたちのために市民が活動していることを紹介した。

電力から自由な個別発電をすでに可能にしている実践を示した。

セッションBは「原発

セッションAは「原子力問題・環境・健康・人権・安全などの視点」とのテーマで持たれた。イ

告。台湾長老教会の大学生・宋文傑氏がPCTの信仰告白と反核宣言に基

反対運動」とのテーマで持たれた。光教会牧師・橋本直行氏は、上関原子力発電所建設計画の経緯と山口県民大集会実行委

員会の活動を紹介。カナダ合同教会のティアナ・アルプー氏は、カナダにおいて気候変動対策から

ユージランドの弁護士・アリン・ウェア氏とカナダの研究員・レイチェル・デイ氏は、司法における反対運動を紹介。32年間裁判官を歩いて現

(嶋田恵悟報)

東日本大震災救援募金（国内）最終報告

教区	献金額
北 海	7,648,027
奥 羽	8,859,201
東 北	3,870,585
関 東	76,254,533
東 京	267,010,846
東京教区	5,217,591
東京・東	38,675,860
東京・西南	102,302,553
東京・南	40,548,056
東京・北	31,794,409
東京・千葉	48,472,377
西 東 京	99,329,916
神 奈 川	67,209,553
東 海	198,914,293
中 部	84,985,577
京 都	11,910,907
大 阪	44,161,054
兵 庫	13,040,237
東 中 国	8,299,901
西 中 国	22,588,816
四 国	22,207,579
九 州	24,124,005
沖 縄	2,948,924
個 人 ・ 他	65,902,123
総合計	1,029,266,077

国際青年会議 in 京都
ステートメント

わたしたち世界の各国の教会から集められた青年は、2017年3月28日(火)～31日(金)、京都にある「関西セミナーハウス」を会場に、「エネルギー持続可能社会の実現を目指して」をテーマに4日間を共に過ごし、学びと協議の時を持ちました。そして、東日本大震災によって引き起こされた東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故と放射能汚染が何をもたらしたかを深く学びました。また、「原子力の問題:環境・健康・人権・安全などの視点」、「原発反対運動」、「裁判などの取組み」、「教会としての取組み」の観点から意見を交わしました。さらに、これによって明らかにされた人間の営みとその限界、驕りに気づかされるとともに、このフクシマからの根本的な問いかけを神からの問いかけとして、人類全体が、また特に聖書の信仰に立つキリストの教会とわたしたちキリスト者青年がどう答えて行くか互いに意見を交わし合いました。その結果、持続可能なエネルギー社会の実現によって、真の平和を将来にもたらしたいと考えるに至りました。

わたしたちは、各地から集まり、世代を超えたキリスト者との充実した交流をもてたことに喜びを感じます。そして、この世界の課題について自由に発言できる場が少ない現代で、このような機会を持つことが大事だと感じました。さらに、プログラムを通して様々な立場の人の話を聞き、新たな気づきを得ることができました。

わたしたちは意見を言うだけに留まらず、自分たちが実践するために、次のことを決意し、呼びかけます。

【決意】

- わたしたちは、教派を超えて定期的に集まり、聖書に示されたイエス・キリストの福音によって新たにされ、世界へと派遣されていきます。
- わたしたちは、日々の生活の中で、エネルギー資源を含む様々な資源消費量を削減することに努めます。

- わたしたちは、苦しむ人びとと出会い、声に耳を傾け、苦しみに寄り添い、ともに生きます。
- わたしたちは、避難者を受け入れ、共に食卓を囲みます。立場や伝統の違いを尊重します。
- わたしたちは、事実を見極め、メディア・リテラシー^(注1)を高めます。
- わたしたちは、正確な情報を集め、発信します。
- わたしたちは、それぞれの教会で、説教や議論を通して、再生可能エネルギーの活用やオフグリッド^(注2)の重要性を語ります。
- わたしたちは、オフグリッドを実現するモデルチャーチを作るために、議論を深め、取り組みます。
- わたしたちは、オンライン会議を活用し、話し合います。
- わたしたちは、原発を支える経済至上主義と差別構造に反対し、その代替となる新しい価値観を模索し、それに従って生きていくことに努めます。

【呼びかけ】

- わたしたちは、市民主体の計測活動への参加とモニタリングポスト^(注3)の設置を呼びかけます。
- わたしたちは、教団・教派・宗派を超えた避難時の協力体制作りを呼びかけます。
- わたしたちは、政府に持続可能社会の実現に必要な働きかけを続けます。
- わたしたちは、キリストにあるすべての人を招き、共に食卓を囲み、苦しみのただなかにある人とともに生きていきます。

2017 年 3 月 31 日

「国際青年会議 in 京都」 参加者一同

^(注1)メディア・リテラシー 社会に溢れる情報を適切に取捨選択し、読み解く能力のこと。
^(注2)オフグリッド 自前の発電設備によって大手電力会社の送電網(グリッド)から外れること。
^(注3)モニタリングポスト 空間にある放射線の量を測定する機械



後列左から、中村、田口、遠矢、長島各委員
前列左から、宇田書記、愛澤委員長、折原委員

40総会期第1回予算決算委員会が、3月2日に教団会議室で行われた。今期の委員と委員会組織

・宇田真、折原威男、田口博之、遠矢良男、長島

16年度第1次補正予算を決定

▼予算決算委員会▲



左列手前から、朴、近藤各委員
西之園書記、高田職員
右列手前から秋山委員長、ジャンセン委員、加藤幹事、廣中職員

40総会期第1回世界宣教委員会が、2月27日、山梨・糸柳を会場

は、次の通りである。委員

員長・秋山徹、書記・西之園路子、近藤誠、朴憲郁、ウェイン・ジャンセン、長沢道子、小海光。今回は1泊2日の日程で、初日は夜10時過ぎまで報告・協議を重ねた。本総会期の世界宣教委員会は、世界宣教の戦略策定、神学カイドライン作成、歴史認識共有を目標に掲げている。

「世界宣教の日」献金総額見込みが当初予算より少ないため、収支共に補正予算を組んだ。この献金が浸透していくための対策を今後考える。

また次年度の支出項目に、「語学研修」、「北米西海岸リトリート」を新たに設けた。現地宣教師のニーズを確認しつつ、教団から北米西海岸に遣わされている宣教師たちが一堂に会し共に宣教について協議・研鑽する機会を持てたらと考えている。

宣教師人事に関して、以下のことを可決または承認した。
長尾有起宣教師(韓国基督教長老会ソウル第一教会)任地変更および任期延長。秋葉睦子宣教師(ベルリン日本語教会)の任期延長。林田義行宣教師(高雄日本語教会)退任。西川晃充宣教師(ユニオン日本語教会)2017年3月末をもって任期満了。川上寧宣教師・川上真咲宣教師(ベルギー・ブリュッセル日本語教会)ようやくビザがおり、渡欧準備中。川合望宣教師(バイン合同メソジスト教会)未だビザが取得できず、1月13日よりヨーロッパ研修に派遣。

▼世界宣教委員会▲

人事6件を可決・承認

恵子、中村公一。常任委員には、委員長と書記が職責上選ばれ、折原委員を互選した。

最初に「道家紀」総幹事事務取扱より、現在のままでは2020年には教団の財政は行き詰まるとの39総会期予算決算委員会の見通しを受けて、これに対応するため、常議員会の下に教団伝道対策検討委員会が設置されたことが報告された。

次に計良祐時財務幹事より、常議員会費の約97万円増、人件費の約1千万円増等により、2016年度第1次補正予算案に関する件を取り扱った。経常会計では、

(宇田 真報)

6年度予算の第1次補正が必要なが報告された。また、第40回教団総会報告書の予算決算委員会の次期委員会への申し送り事項を全員で確認し、前記の教団財政の見通しの他に、会館耐震工事に伴う教団三局の一時移転により、運用基金引当金の取り崩しが行われたが、今後のために新たな積立が必要であるとの認識を共有した。

これらの諸報告の後、2016年度第1次補正予算案に関する件を取り扱った。経常会計では、

▼宣教研究所委員会▲

継続・新規取り組み事項を確認

宣教研究所委員会は3月6日に第1回委員会を開催し、小堀康彦委員長、岡本知之書記を選任した。

はじめに教規並びに関係規則より委員会の使命と性格を確認し、①宣

内容の把握、②教会形成の研究、③宣教対象の時代的・社会的特質の理解、④宣教方策の研究などに当委員会の基本的使命のあることを確認した。

今年委員会において扱うべき具体的課題として、継続事項としては「聖餐ハンドブック」の改定ならびに引き継ぎ事項の精査を、委員長の責任において行うこととした。新事項としては、以下の4分野を研究対象として挙げ、それぞれにプロジェクト委員会を設置して課題の検討に当たることとした。

(1)「青年伝道」の推進方策について(担当・野村 稔、小泉健、宮崎新、他、外部委嘱委員数名)。

(2)教会と付属施設との関係について(担当・岡本、村上義治、小林光、他3名)。「牧会者とその家族のための相談室」設置推進について並行して考えていくこととした。

更に、伝道、教育、社会の常設専門委員会、全国教会婦人会連合、全国

今日またこれからの教団の状況において宣教委員会のなすべき働きは何かということの思い描き、委員会の意義についてそれぞれの思いを語り、前回の申し送りを確認した。特に「障がい」を考える小委員会の

▼宣教委員会▲

宣教方策会議、宣教基礎理論について討議



後列左から、小林、宮崎、小泉、野村各委員
前列左から、村上委員、小堀委員長、岡本書記

40総会期第1回宣教委員会が3月13、14日、教団会議室にて招集者・米倉美佐男牧師による開会礼拝により始められた。礼拝後、自己紹介し、引き続き組織について協議し、米倉委員長、岸憲秀書記を選出した。

今日またこれからの教団の状況において宣教委員会のなすべき働きは何かということの思い描き、委員会の意義についてそれぞれの思いを語り、前回の申し送りを確認した。特に「障がい」を考える小委員会の

設置は継続となり(堀真知子委員長、吉澤水委員、他3名)。「牧会者とその家族のための相談室」設置推進について並行して考えていくこととした。

更に、伝道、教育、社会の常設専門委員会、全国教会婦人会連合、全国

改訂宣教基礎理論の第2次草案が常議員会預かりのままで、本来、教団の宣教方策を掲示すべき宣教委員会(教規41条)が、様々な立場に配慮し

時間を多く割いた。改訂宣教基礎理論の第2次草案が常議員会預かりのままで、本来、教団の宣教方策を掲示すべき宣教委員会(教規41条)が、様々な立場に配慮し

宣教方策会議について次回委員会への継続とし、今回の議論を踏まえて意見を持ち寄ることとした。

▼教師検定委員会▲

豊かな伝道力を持つ伝道者を立てるため



左から、清藤淳、成田いうし各委員、井ノ川書記、服部委員長、辻順子、潮義男各委員

40総会期第1回教師検定委員会が3月17日、教団会議室で開催された。服部修委員長、井ノ川勝書記が選出された。

まず、教師検定委員会の任務を、教規第45条、教師検定規則に従って確認した。日本基督教団の教師を立てるために、受験者の学科試験の審査と、信仰の経歴、召命の自覚についての人物審査を行うことが、委員会の任務となる。改めて、委員会に託された主からの使命と責任の重さを痛感

つ、合同教会としての日本基督教団の形成を担う教師を立てることをめざす。更に、教憲第9条をめぐり議論を初めとし、これまでに提起された諸課題を受けとめながら、(中略)各教区や各神学校との連絡を密にし(中

略)これまで行われてきた三委員会(教師・信仰職制・教師検定)の協議をふまえ、教師検定制度のより良いあり方を模索する。

更に、2017年秋季教師検定試験の課題テキストの確認、公告の確認、

受験要綱の作成、学科試験問題の作成担当者の決定を行った。前総会期の委員会からの申し送り事項として、受験者の神学的な学力低下傾向が著しい点に伴い、教団の教師としての召命の自覚の低下も挙げられた。豊かな

伝道力をもつて教会と地域に仕えることのできる伝道者を立てるために、どのような検定試験をしたらよいのかを相談した。今総会期の重要な課題である。

▼信仰職制委員会▲

問い合わせ2件を取り扱い

40総会期第1回目の信仰職制委員会が、3月6日、教団会議室にて開催された。委員の構成は、招集者・藤盛勇紀、河田直子、穴戸俊介、須田拓、田邊由紀夫、田村博、武

田真治の計7名である。委員会では、最初に今期委員会の組織について協議され、藤盛委員長、武田書記を選任した。次に、新しく加わった委員のために信仰職制委員会

の任務について委員長より説明があった。続いて前期委員会より申し送り事項を確認した上で今期委員会の方針について協議した。

今回、当委員会に対し

て答申を求められた諮問はなかったが、道家紀一総幹事務取扱からの問い合わせ2件について協議をし、委員会としての見解を答えた。その2件とは「隠退教師の退職の



左から、河田、須田各委員、武田書記、藤盛委員長、田邊、穴戸各委員



左から、森下耕、大野光信、願念望、具志堅篤、吉澤各委員、岸書記、栗原清委員、米倉委員長、坂下道朗、堀、小宮山剛各委員

(武田真治報)

(岸 憲秀報)

日本への宣教師派遣

宮城学院の基礎を築いたのは、合衆国改革派教会の外国伝道局が派遣した宣教師たちである。このボードは 1838 年に組織され、その使命は「全世界に出て行って、すべての造られしものに福音を宣べ伝えよ」とされていた。しかしながら、最初の 35 年間は本格的な活動がなされず、再組織会議が開かれ、伝道先を日本に決定したのは 1873 年のことであった。最初の宣教師 A.D. グリングが委員会から派遣され、日本に到着したのは 1879 年のことで、それから 1889 年までの 10 年間に、ボードは 4 人の男性宣教師と 3 人の女性宣教師を送り出したのである。

宮城女学校創立

女性宣教師であるエリザベス（リズィー）R. プールボーとメアリー B. オールトの 2 人は、グリング宣教師夫人のハティが、日本に女性宣教師を派遣する必要性を訴えたことに応えた女性たちだった。この 2 人は日本の少女に福音に基づく教育を施し、当時の社会の中で虐げられていた女性たちを救うという使命をもって 1886 年、仙台の地に赴くことになった。2 人は東京に比べると未開の地であり、未だ十分な発展を遂げてはいないが、東北では一番大きな都市であった仙台に伝道の拠点を定め、宮城女学校（現在の宮城学院）の草創期の教育にあたった。

プールボーを初代校長とし、8 人の生徒と、外国人 2 人、日本人女性 2 人の教師によって、2 階建ての一般家屋を借りてスタートした宮城女学校は、瞬く間に評判となる。宮城県には未だ女学校がなかった時代、通行人が足を止めて格子窓の中の授業の様子を覗き込むなど、一躍仙台の



1889 年、仙台にて、合衆国改革派教会派遣日本宣教師団

新名物、新名所となったのである。第 2 年度のプールボーの年次報告（1888 年）によると、在籍数は 48 人、洗礼を受けた生徒が 12 人、他にも受洗志願者が 3 人いること、毎日 1 時間の聖書講話の時間を生徒たちが大切にしていること、3 分の 2 の生徒が日曜学校に出席しており、残りの生徒は他の日曜学校の手伝いに行っていることなどが記されている。プールボーの祈りと働きが日本の少女の心にも伝わり、着実に実を結んでいったことが分かる。

プールボー宣教師、オールト宣教師の生涯

30 歳で日本への宣教を出願したプールボーは、1854 年 12 月 27 日にペンシルヴァニアのバーリンで生まれ、ヨーク高校を卒業後、公立学校の教師をしていた。彼女が日本に来るとき、6 歳になる姪のサラ・キャザリン（愛称キティ）を同道していた。出産する時に亡くなった義理の姉に代わって姪を養育していたのだ。日本での 7 年間にわたる校長職を終えてアメリカに戻ったプールボーは、コート牧師と結婚し、牧師夫人として夫を支えた。その最期はキティの家族と暮らし、彼女の遺灰は

宣教師からの声 番外編

宮城学院創設期の女性宣教師たちの働き

嶋田 順好

(宮城学院学院長)

心から愛した日本を偲ぶため、日本庭園を模して作った自宅の庭に撒かれたとのことである。

もう一人の女性宣教師オールトは、1863 年ペンシルヴァニア州メキャンスバーグで牧師の娘として生まれ、7 歳の頃から海外伝道の宣教師になることを夢見る女性だった。1888 年 6 月にオールトは合衆国改革派教会 3 人目の宣教師として派遣されていたホーイ牧師と結婚し、1937 年、中国の漢口で亡くなるまで生涯のすべてを夫と共に海外伝道に捧げた。

女性宣教師と宣教師の妻たち

この初期の 10 人に続き、宮城学院がボードを通して受け入れた宣教師は 1985 年までに 148 人にもなる。彼ら、彼女らはどの時代においても心を尽くして宮城学院の教壇に立ち、教育に携わった。そのうちの 116 人が女性宣教師であった。この数には夫と共に仙台の地に赴任した宣教師の妻たちは入っていない。グリングに続き、2 番目に日本に派遣された J.P. モールの妻アニーや、D.B. シュネーダーの妻アンナも、女性の地位の向上と福祉に大きな関心を持ち、キリストの愛に貫かれた生涯を日本の女性たちのために捧げた。

彼女たちは、教会と宮城女学校（宮城学院）を支えたのみならず、東北における幼児教育や、病に苦しむ人々、更には試練にさらされる女性たちにも目を向け、地域社会の変革に大きな影響と感化をもたらした。つまり、なお封建的な気風が根強く残る日本社会の中で、福音に根ざしたキリスト者の生活を実践することによって、神のもとにおける平等と人格的な交わりのモデルを示すということにおいて大きな貢献を果たしたのである。

宮城学院卒業生

宮城女学校の女性宣教師たちは皆、授業で聖書や英語を教えるだけでなく、学生の人格を重んじ、その生活のすべてに配慮し、模範となる優しい母であり姉であった。宣教師たちの願いは「生徒たちが結婚し、クリスチャンホームを築くことで次に生まれてくる子どもたち、そしてその次の世代にキリスト教を広げていけることだろう」ということにあった。多くの宣教師の祈りと献身のもと、宮城学院は、たくさんの心豊かな卒業生を世に送り続けることができたのである。

(Kyodan Newsletter より)

事務局報

教師異動

和泉短期大学

就(教)西田恵一郎

大井 就(主)岡田直丈

藤沢北辞(兼担)澤田 隆

神戸聖愛就担林 美恩

多良見 就代(長谷川渉

南豆 辞(兼担)星野正興

松崎 辞担)星野正興

富士見台就代(入 治彦

桐原 就代(横田明典

埼玉中国語礼拝

辞代(秋山 徹

就(主)林 美音

宮城野愛泉 辞代(橋爪忠夫

就代(小川幸子

仙台市民辞代(橋爪忠夫

就代(長尾厚志

教師隠退

星野正興、橋爪忠夫

伝道所廃止

練馬二丁目

教会所在地変更

石岡 315-0001

石岡市石岡字並木東 2

18816

消息

橋口徳四郎氏(隠退教師)



17 年 1 月 23 日逝去、84 歳。兵庫県生まれ。56 年

関西学院大学大学院卒

業。58 年より泉大津、夙

川東教会を牧会し、夙川

学院に務め、鷹取教会を

牧会し 03 年隠退。遺族は

息・橋口望さん。



平田由香里さん

与えられた主の恵み



大分県出身、西東京教区・狛江教会員。

平田さんは、クリスチャンの母親に幼い時から弟と一緒に教会に連れられ、1999 年のクリスマス、12 歳の時に洗礼を受けた。11 歳の時、父親の死をきっかけに、生きる意味について問いが生まれた。そして自分の力で「逃れる道」(「コリント 10:3」)を見つけようと努力していた。大学 4 年生の就職活動で行き詰っていた時も、「誰に頼っても、私の代わりに面接を受けてくれるわけではない。だから、頼っても仕方ない」と思いついて、しかしそんな時、「主に自らをゆだねよ」(詩編 37:4-5)との御言葉にとらえられ、神様が再び私に現れてくださった」と感じた。

その 2 週間後に就職先が備えられる出来事を通して、「すべては、自分の力で得たものではない。今までは神様に支えられて自分が努力した結果ここまでこられたと思っていたが、本当は私の努力にかかわらず、私にとって必要なものをすべてその時期にあうように備えてくださった。だからすべて主にゆだねることが出来る」という主への信頼を与えられた。父親の死も就職活動も大きな困難であったが、すべてを神様のご計画の一部として見るとき、困難が困難で終わっていない、その困難が苦しみや辛さを超えた

大きな恵みが待っていることを信じ、主のご計画の一部として、神様の恵みによって強く生かされていければ、と思っている」と力強く語った。

新しい年度の歩みが始まって一カ月が過ぎた。

新たに教師(牧師、伝道師)を迎えた教会においては、教会員と教師との間で丁寧な関係づくりがなされていることと思う。両者に信頼関係が無ければ

教会の伝道の進展は望めないからである。

そして、教会および教師においては、各地区や分区分・支区、さらに教区の他の教会との関わりも必要となる。その関係が災害等の場合に支え合うことだけではなく、教会同士で相互に祈

り合い、学び合い、力を合わせて共に伝道を推進する、いわゆる協力伝道が求められるからである。

ところで、3 月のある日のこ

共に伝道を推進するために

と、朝、鳥の鳴く声が聞こえて空を見上げると、白鳥十数羽がきれいな逆 V 字編隊で北の方角に向かって飛んでいた。

逆 V 字編隊で飛ぶ理由は、先頭の鳥の羽ばたきによって上昇気流が生まれ、後続の鳥が楽に飛ぶことができ、先頭の鳥が疲れると最後尾に回って、別の鳥と交代するからだそう。

そのことによって一羽で飛ぶよりも 7 割も遠くまで飛べること。また、一羽が疲れて脱落すると二羽の鳥が付き添って地上に降り、体力が回復すると、後で飛んできた別の編隊に合流すること。

見事な協力体制である。(教団総会書記 雲然俊美)